

沖縄発！イノベーションの 創出に向けて

「イノベーション」とは、経済や産業の発展につながる技術や仕組みなどの『革新』という意味です。
県では、地域の資源や特性などを活かしたイノベーションの創出を支援しています。

イノベーション創出の 必要性

沖縄は、広い海域に島々が点在し本土とは気候等が異なることから、独自の地域資源が多数あります。本県の経済を発展させるためには、このような地域資源を活用した新商品などを生み出す「イノベーション」が求められています。

例えば、紅イモやモズクの中に含まれる有効な成分を抽出し新商品を開発したり、これまでは使われていなかった成分を調べて商品化することにより、付加価値を高めることができます。

具体的な例として、大学と企業が共同で、これまでは商品原料としては使われていなかったシークワサーの皮や種から、食品や化粧品原料となる成分を抽出する研究が進められています。大学では、シークワサーの皮や種に含まれる成分の特徴などを分析し、企業では、効率の良い抽出方法を研究しています。これらの成果として、今までは廃棄されていたシークワサーの種や皮から新しい商品が生み出され、シークワサーそのものの商品価値が高まることとなります。

こうした産学官の連携によるイノベーションの創出は、経済を発展させ、地域を活性化するための有効な方法であり、県では、産学官の共同研究を積極的に支援しています。

これまでも、産学官の共同研究によって大きな成果が挙げられ、研究結果を基にした特許が出願されたり、多くの商品が生み出されたりするほか、新たな雇用が創出されています。今年度も十五件の研究開発を支援し、イノベーションの創出に取り組んでいます。



イノベーション創出に 向けて

資源を活用しイノベーションを生み出すには、大学などの研究成果を基に、企業が商品化に取り組む産学官の連携が重要になります。大学などには先進的な研究開発を行う設備や人材が揃っており、企業には消費者の好みにあった商品を作り、販売するノウハウがあります。両者が上手く連携することで、消費者に支持される新しい商品を効率良く生み出すことが可能となります。



産学官の共同研究による商品開発セミナー

産学官連携の進め方

産学官の共同研究については、始めの方分からないといった方も多いと思います。そのため、県では、企業と大学や研究機関とを結びつける取り組みを行っています。

産学官の研究成果の発表会や講演会のほか、企業を対象とした相談会を実施しています。

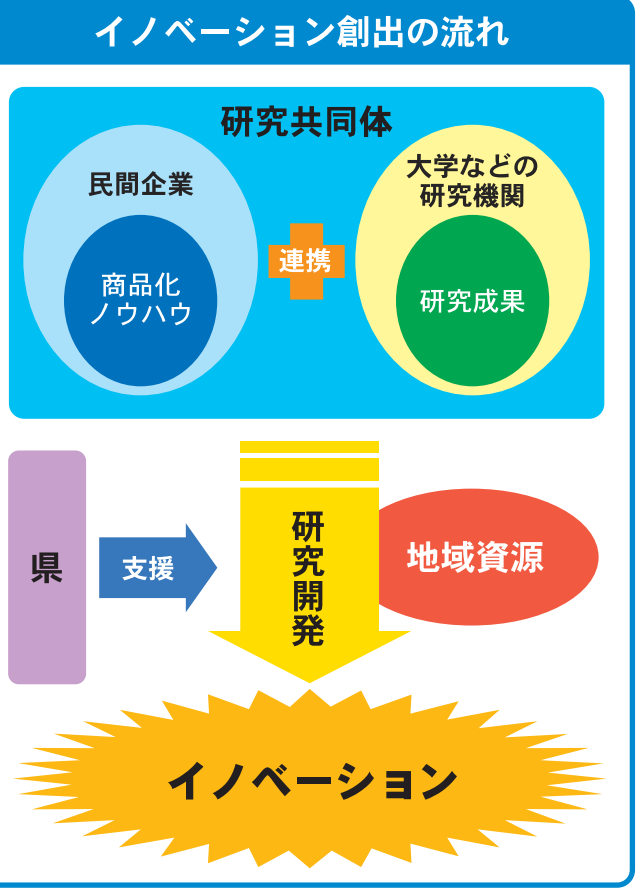
もに、大学などの研究成果や研究者の検索もできます。現在は試験運用期間で、四月からの本格運用に向けて準備を進めています。

これから産学官連携を目指す方々に利用していただき、沖縄発のイノベーションが次々と生み出されるよう、さまざまな支援に引き続き取り組んでいきます。



産学官共同研究成果発表会における展示

これまで、産学官の共同研究によって大きな成果が挙げられ、研究結果を基にした特許が出願されたり、多くの商品が生み出されたりするほか、新たな雇用が創出されています。今年度も十五件の研究開発を支援し、イノベーションの創出に取り組んでいます。



産学官の共同研究を目指す企業を対象とした個別相談

また、産学官の連携に必要な情報を発信するホームページも作成しています。ホームページからは、産学官連携の進め方や県による支援制度などの情報が得られると

イノベーション創出事業の公募について

県内でイノベーションの創出を目指す研究開発テーマの募集を行っています。募集期間は3月14日までです。応募資格や支援内容など、詳しくは県新産業振興課のホームページをご覧ください。
沖縄発のイノベーション創出を目指す方々のご応募をお待ちしています。

※詳しい情報は、**県ホームページでもご覧になれます。**